

推薦の言葉

高野山専修学院 院長・大本山宝寿院門主
和田有玄

今般「うしお書店」の企画により、本宗の誇る二大観学の著作集が時を同じくして発刊される運びとなりました事は、法流護持の上からも時宜を得ており、誠に欣快の至りであります。

ご承知の通り、高岡・金山両現下の御活躍の足跡を辿る時、不思議な程に相通する道を歩まれた事に唯々驚嘆致し居る次第でございます。両現下は、大正、昭和の二代に亘ってご活躍なされましたが、高祖弘法大師御開創以来、千貳百年の伝統を守る本宗にあっても、時代の変動の波を避ける事能わず宗団、本山の体制・教団の指針、徒弟教育のあり方、等々について、根底からの見直し、変革が迫られた時代でありました。

両現下は、このような時期に恰も、如来の指令を帯びたる使者の如くに登場し、直面する諸々の、問題を解決して、現在に至る宗団・本山の基盤を築かれたのであります。即ち、時の前後はあるものの、揃って宗団、本山の全分野に於る重責、すなわち高野山大学長、宝寿院門主及び専修学院院长、寺務検校執行法印、管長及び座主等々の大役を網羅なされ、更には事教二相の依止師として、一流伝授、学修灌頂等の大阿闍梨をつとめられ、その実力を天下に知らしめされた事は、誠に稀有なる事実であり、近代から現代に向っての幕を開く役割を果たされたご功績は驚嘆すべき勝行であります。

今般の企画によって古来からの「伝統的教學の真髓」にふれることが出来るものと期待に胸をふくらませて、推薦の言葉にかえる次第でございます。

(この推薦文は、著作集よりの抜粋です)

たか おかりゅうしん
高岡隆心 (1866~1939)



- 1866 新潟県中頸城郡保倉町大字青野出生 (現・上越市青野)
- 1811 明王院高岡増隆和尚の室に入る
- 1920 初代 高野山宝寿院門主
初代 高野山専修学院院长
- 1922 第422世 金剛峯寺寺務検校執行法印
- 1924 初代 高野山大学学長
- 1934 古義真言宗管長
第390世 金剛峯寺座主
- 1939 東寺灌頂院後七日御修法大阿闍梨
10月19日 金剛峯寺で遷化。74歳。

かな やま ぼくしょう
金山穆韶 (1876~1958)



- 1876 富山県新川郡大山町文珠寺出生
- 1919 天徳院住職
- 1934 第2代 高野山宝寿院門主
第2代 高野山専修学院院长
- 1940 第4代 高野山大学学長
- 1944 第444世 金剛峯寺寺務検校執行法印
- 1953 高野山真言宗管長
第396世 金剛峯寺座主
- 1958 6月11日遷化。83歳。

★本著作集を
真言宗学研鑽の諸賢にお薦めします。

高野山大学学長 和多秀乗
高野山専修学院院长・大本山宝寿院門主
和田有玄

発行 高岡隆心・金山穆韶著作刊行会
発売 うしお書店
〒949-43 新潟県三島郡出雲崎町大門164-7
TEL 0258 (78) 2155 FAX 0258 (78) 4243

※写真は現存の著作。



◆第1回配本 '96年10月刊行(以後毎月1巻刊行)
『高岡隆心著作集(第一巻)』
◆予約締切日 '96年9月20日まで

限定予約出版

御生誕130年記念企画(全二巻)

高岡隆心

金山穆韶

著作集

全十二巻

御生誕120年記念企画(全十巻)

不朽の名著 今ここに集大成

覆刻

推薦の言葉

高野山大学学長 和多秀乗

高野山大学は、明治十九年の創立以来、学長職を総理と称してきたが、第七代目より総理を学長と改称し、初代学長に高岡隆心僧正が就任(大正十五年四月)され、第四代学長として金山穆韶先生が就任(昭和十五年十二月)された。歴代学長のうち、私が警咳に接し得なかつたのは初代高岡学長唯一人である。金山先生についても十分な資格はないが、私の思い出を書いて推薦の辞に代えたい。

昭和二十二年四月、高野山大学に入学した私は、屢々予科生の聴講を許さない学部(講義教室)にもぐりこんだ。金山先生の発音と独特の語り口は、仲間うちでよく真似たものだが、最前方の席でないとお話しはよく聞き取れなかつた。敗戦後の自信喪失期に、占領軍将校による奥院御開扉の要求を、毅然として拒否された護法の念強い金山先生、行学二相を究め宗の内外において已に象徴的存在であった金山先生とは、一体どのような方であるのか多少でも知りたい確かめたいというのが理由であった。

大学の集団得度の際、最年長という理由で、天徳院の広間で金山先生に相對峙した時の昂奮と感激は今も鮮やかであるが、先生は一人ひとり実名と仮名の出典と意味を詳しく説明され、出家得度の心がまえと意義を宗祖大師の例を引いて懇々と悟された。かつてめぐりで聞いた話でもあった。

今もって近づき難い両先生の全集出版は私にとつて最後に与えられたチャンスであると思つてゐる。真言宗の興隆発展はまず伝統教學の学修から始まる。広く味読を推奨する所以である。

(この推薦文は、著作集よりの抜粋です)

第一回配本 平成八年十月刊行(以後毎月一巻刊行)
高岡隆心著作集 第一巻
教相編

高野山真言密教の碩学、両院下の著作を網羅!!
従来単行本に未収録の小論文を収載!!



〈本写真はイメージ写真ですので実物とは若干異なります〉

予約締切日

平成八年九月二十日まで

監修

高岡隆州(前伽藍維那 高野山明王院)
伊藤哲照(高野山天徳院)
土生川正道(高野山大学教授 高野山無量光院)
英口仁海(新潟・高野寺)

仕様

A5判・上製本布製・貼箱入
総頁・四、〇〇〇頁(各巻平均二五〇〜四〇〇頁)

全巻一括払い特別価格

一四八、〇〇〇円

(※特別価格期限 平成八年九月二十日)
全巻揃定価 一六〇、〇〇〇円
※各巻払いもご利用になれます。

予約方法

同封の「申込みハガキ」に必要事項を記入の上、捺印しご投函下さい。(切手不要)

※本書は、高岡隆心・金山穆韶両師の御生誕記念特別企画のため、分売のお求めには応じかねます。

※本書は、一般書店では取り扱っておりません。

〈予約特典〉

本書を全巻ご予約の方へ、高岡隆心・金山穆韶両師の墨蹟(複製)まくりを贈呈いたします。(第六回配本時)

▲忍徳持戒苦行不能及所(横24cm×縦10cm) 高岡隆心書

忍徳持戒苦行不能及所

高岡隆心書

▲鳳凰鳴垂于波高岡(横24cm×縦10cm) 金山穆韶書

鳳凰鳴垂于波高岡

金山穆韶書

◆全巻編成◆

第一回配本 高岡隆心著作集(第一巻・教相編)
平成八年十月刊行・定価15,000円

大日経の教主 秘藏宝鑑著作の本旨 秘藏宝鑑講義 卍字義所釈の法体 两部曼陀羅大意(1・2・3) 梵網経疏密に関する世の惑を解く 再び梵網経の翻伝に就て 仁王経浄富の浄業 権大僧正高岡隆心傳(1・1・3) 説教集妙(高岡隆心著) 高野山二十一勝記(高岡隆心著) 三章教憲和解(高岡隆心著) 高野山参詣略案内記(高岡隆心著)

第二回配本 高岡隆心著作集(第二巻・事相編)
平成八年十一月刊行・定価10,000円

真言宗後七日後修法に就て 御修法奉修に当りて 授戒会に就て所感 施戒鬼会の功德 高野山修道院開設の主義に就て 善通寺の御遠忌奉讃 大塔落慶法会を迎えて 弘法大師は国家社会の大導師なり 三派合同と高野山の使命 高野山大学の使命 大学完成の急務 親賢僧正一千年忌に就て 智泉大徳一千年忌に就て 大福寺法会に臨みて 恩賞に浴して 新年の社会に対する善人の宣伝 考養は人道の根基 突如の社会に処する吾人の反省 仏教は活社会の母 法会、故高岡大僧正追悼号、その他

第三回配本 金山穆韶著作集(第一巻・教相編①)
平成八年十二月刊行・定価17,000円

真言密教の教学(上) 真言密教の起源伝来 大師の宗教 密教の大意 曼陀羅に就て 二教論及び宝鑑より觀たる弘法大師の根本教旨 三教書を中心として觀たる大師の思想 密教の正意 六大體大に就て 祖師は入定留身なし給う

第四回配本 金山穆韶著作集(第二巻・教相編②)
平成九年一月刊行・定価14,000円

真言密教の教学(下) 佛教に於ける個體の觀念 中院流に就て 真言密教の教理史の一斑

第五回配本 金山穆韶著作集(第三巻・教相編③)
平成九年二月刊行・定価10,000円

密教小論集 聽海抄に就て 真言密教の核心 弘法大師の六大體大説 真言の法門 真言密教の起源伝来 真言密教の正旨 弘法大師の宇宙觀 弘法大師の人生觀 密教とは何ぞや わが信仰 国家主護の念願

第六回配本 金山穆韶著作集(第四巻・教相編④)
平成九年三月刊行・定価4,000円

大日経小論集(上) 大日経綱要 大日経綱要序説 大日経大觀の一節 大日経意障品の梗概 大日経十喻の法門 大日経題の研究

第七回配本 金山穆韶著作集(第五巻・教相編⑤)
平成九年四月刊行・定価14,000円

大日経小論集(下) 大日経の教主に就て(1-11) 大日経の解かれたる教相の大意 住心品に就て

第八回配本 金山穆韶著作集(第六巻・教相編⑥)
平成九年五月刊行・定価13,000円

日本真言の哲学 日本真言宗教相の書 世間三心 小乘二心 權大乘 宝大乘 真言密教 弁顯密二教論に就て

第九回配本 金山穆韶著作集(第七巻・教相編⑦)
平成九年六月刊行・定価13,000円

秘藏宝鑑の大綱 十卷章講述の次第 秘藏宝鑑御製作の年代及び製意 宝鑑所明の法門 秘藏宝鑑に就て

第十回配本 金山穆韶著作集(第八巻・教相編⑧)
平成九年七月刊行・定価13,000円

弘法大師の仏教 真言宗の信仰 真言の法門 常佳の一世 密教とは如何なるものか 大師の教え 佛教とは如何なるものか 宥快法印の教風に就て 阿字本不生義 弘法大師の仏教觀

第十一回配本 金山穆韶著作集(第九巻・事相編)
平成九年八月刊行・定価13,500円

弘法大師の信仰觀 高野山相傳の事相に就て 千座摩訶嚴修の悲願を樹てて 仏を求めて 仏戒の復興を希うて 求聞持法を修せる二行者 真言 折持に就て 虚空藏菩薩の三摩地 真言の觀誦 修道日誌 信仰の體制 西院流に就て 真言密教の浄土觀 中国における密教の復興に就て

第十二回配本 金山穆韶著作集(第十巻・隨筆編)
平成九年九月刊行・定価13,500円

隨筆、その他小論集 弘法大師と高野山 高野山大学の使命 真然大徳と高野山 修道院生に示す 真別處研究の開設 倪利伽羅山不動寺の復興 回想40年 晩秋の巡錫 仏教觀の一節 仏日増輝 高岡座主現下のご遷化を慎みて 金山穆韶追悼号 御衣加持法則表日 宥快法印の教相の一斑 金山教授30通の手紙 一流伝授録ノート(高岡隆心現下講義) 声字実相義(金山教授講義筆)